

## 物性データ

項目		ビューカル
厚さ(μm)		75～85(粘着剤含む)
引張り強度 N/25mm(kg/25mm)	縦	31.0以上(3.2以上)
	横	31.0以上(3.2以上)
伸び(%)	縦	120以上
	横	120以上
粘着力 N/25mm(kg/25mm)	23℃ 1時間	11.0以上(1.2以上)
	23℃ 168時間	20.0以上(2.1以上)

## 耐性試験

試験項目	方法	結果
加熱寸法変化率	80℃48時間後常温放置して、縦・横の変化率を見る 100mm×100mm	0.1%以下
耐熱老化性	80℃168時間	異常なし
湿潤老化性	50℃ 95% RH168時間	異常なし
耐水性	23℃ 水168時間	異常なし
サーマルショック性	※1	異常なし
耐塩水性	5%塩水中に400時間浸漬	異常なし
耐候性	サンシャインウェザオメーター2,000時間照射	異常なし
屋外曝露	フロリダ2年間 南面45度、被着体アクリル焼き付け塗装板	異常なし ※2
耐酸性	0.5% $\text{H}_2\text{SO}_4$ に0.5時間浸漬	異常なし
耐アルカリ性	0.1N $\text{NaOH}$ に0.5時間浸漬	異常なし
耐ガソリン性	レギュラーガソリンに1時間浸漬	異常なし
耐油性	エンジンオイルに1時間浸漬	異常なし

※1 ヒートサイクル条件

50℃×3時間→室温×1時間→-30℃×3時間→室温×1時間→50℃95%RH×15時間→室温×1時間を5サイクル。

※2 著しい変化なし。上記数値は実測値であり、保証値ではありません。

## ViewcalシリーズはRoHS適合製品です

防火認定

不燃下地材(金属板) NM-2568

アルミ複合板 NM-2603

(三菱樹脂(株)製ALPOLIC/fr AD 不燃材)

鉄道車両材料燃焼試験 不燃性※1

※1 認定番号は下地材によって異なりますのでご確認ください。

## 被着体別施工上のご注意

施工前に被着体のほこり・汚れの除去、脱脂などを十分に行ってください。

被着体		施工	被着体		施工
プラスチック	PP・PE・フッ素	※1	金属	亜鉛メッキ鉄板	○
	ABS	○		ボンデ鋼板	○
	PET	○		焼き付け塗装板	○
	FRP	○		アルミニウム	○
	アクリル樹脂	○		ステンレススチール	※5
	ポリカーボネート	※2	その他	コンクリート	※6
	塩ビ	※3		モルタル	
テント地	スレート				
ガラス	一般			※4	
網入り	FFシート(フレキシブルフェイス)	※7			

※1 十分な粘着力が得られない場合があります。

※2 アウトガス発生のため、膨れが生じる場合がありますので事前にご相談ください。

※3 可塑剤、遊離成分などが含まれていますので浮き、はがれなどが生じる場合があります。

※4 熱割れが発生する可能性があります。

※5 屋外に貼付にした場合、条件によっては劣化する可能性がありますので事前にご相談ください。

※6 基本的に前処理、プライマー処理が必要です。水分などのにじみ出し、粗面による密着不良が原因で浮き・はがれが生じるおそれがあります。

※7 FFシートに施工する場合は、FFシート対応の粘着剤を使用した電飾用フィルムをご使用ください。

※1～7は、条件によって異なりますので、詳しくはお問い合わせください。

## 施工時の温度

貼り付け作業は5℃以上の環境下で行ってください。

## 低温(5℃以下)の場合

初期粘着力が低下し貼付しづらくなるためドライヤーなどで温めてから貼付し、十分に圧着してください。

## 高温(30℃以上)の場合

初期粘着力が向上し貼付しづらくなるため、水貼りをお薦めします。

## フィルムの保管について

フィルムの保管について保管は紙管に巻いた状態で宙づりにして保管してください。

高温多湿の場所を避け、風通しのよい場所で保管してください。

高温で彫金保管されるとフィルムの表面につやむらが生じますのでご注意ください。

## 施工時のご注意

### ● 水平面に貼付する場合

垂直面に比べ劣化が促進される場合がありますので、ラミネートフィルムの使用をお薦めします。  
事前にご相談ください。

### ● 重ね貼りの場合

同じ製品でも製造ロットにより色、隠蔽性などが微妙に異なる場合がありますので、  
同一ロットのフィルムを使用してください。  
ベタ貼りおよびメタリック、マットタイプの場合は、フィルムの流れ方向を合わせてください。

### ● ステンレススチールに貼付する場合

条件によって粘着剤及びフィルムが劣化する可能性がありますので、事前にご相談ください。

### ● FF(フレキシブルフェイス)に貼付する場合

FFに含まれる可塑剤の影響を受ける可能性がありますので、必ず可塑剤対応の粘着剤を使用した  
電飾用のViewcal 920・930シリーズをご使用ください。

### ● 波板、コルゲートなどの凹凸面に貼付する場合

押し込み貼りを避け、形状に沿って貼ってください。  
リベットなどの突起物周辺は形状に合わせてカットし十分に圧着してください。  
冬季にはドライヤーなどで少し温めながら作業することをお薦めします。

### ● ガラスに貼付する場合

貼付面積や条件、ガラスの種類によってガラス割れを起こす場合がありますので注意が必要です。  
(特に網入りガラス等への使用はできません)

### ■ 被着体に接ぎ目がある場合

接ぎ目部でフィルムが破れる場合があるため、フィルムを接ぎ目部でカットしてください。

### ● 目隠しシートを貼付する場合

目隠しシート白は、再剥離の微粘着タイプを使用しております。  
大きな面で使用される場合は、剥離を防ぐため、エッジテープにて補強が必要となります。  
また、隠蔽性につきましては、事前にご確認ください。